

「高山土曜ストア」 @市営高山団地集会所がスタート！



① やりたくないこと ～力を合わせて～

「坂が多くて買い物が大変。近くのスーパーも閉店…」

→ 自分たちの手で、団地の集会所で販売会をしたい！



住民・スーパー・区役所の力を合わせれば、実現し、続けられるかも?!

「もし、近くの集会所で販売会が できたら？」

- 選ぶ楽しみの提供
- 顔を合わせる場に
- 見守り・安否確認

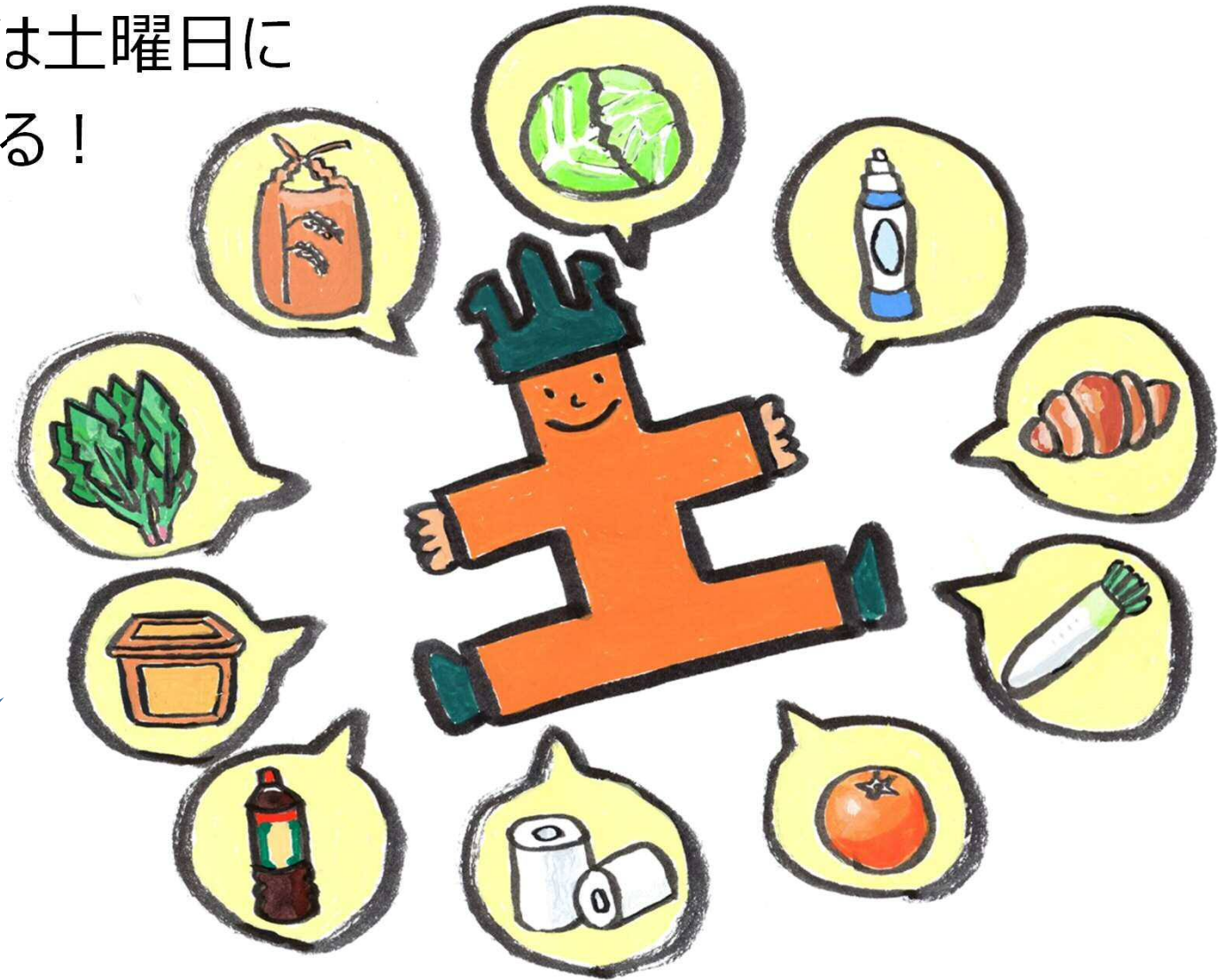
自分の目で見て
商品を選ぶと、楽しいね！

何年も会えなかったAさんに
会えて嬉しかった！



「せっかく販売会するなら、毎週やろうよ！」

→ 楽しみは土曜日に
やってくる！



今週は何を
買おうかな？

②その理由 ~なぜ必要か~

〔データ1〕 市営住宅の高齢化

65歳以上の人口は、宮前区全体では約2割だが、区内の市営住宅の高齢化率は高く、市営高山団地では65歳以上の入居者が半数を超えている。

65歳以上の人口	
宮前区全体	19.7%
市営高山団地	52.6%



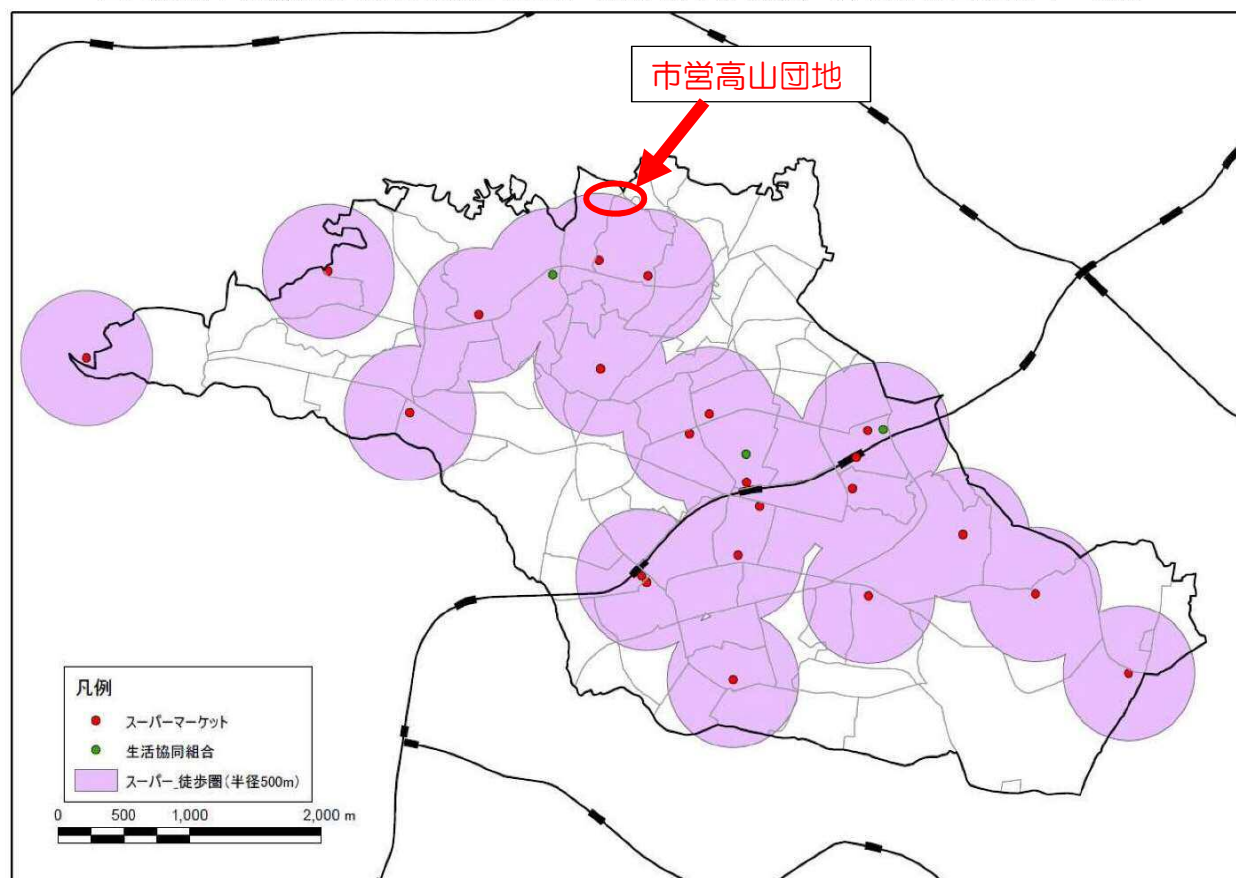
〔住民の高齢化に伴う様々な課題〕

- ① 買い物が困難になった
- ② 引きこもり、外出しなくなった
- ③ 地域全体の活気がなくなってきた

〔データ2〕 周辺のスーパーなどの位置関係

大通り沿いのスーパーまで、歩いて6分で行ける場所にあるが、急坂が続いており、買い物に苦労している。

■大規模小売店舗の利用圏域を500m（徒歩約6分程度）とした場合のカバー状況



資料：平成 27 年川崎市内大規模小売店舗一覧より作成

③実現の流れ ~どう育てるか~

♪「高山土曜ストア」の育てかた♪

小さく産んで、ときには失敗もしながら、

愛されるお店として大きく育てよう ♡

(スモールスタート・トライアンドエラー)



〔ステップ0〕 始めるまでに必要なこと

1 まずは、場所の確保から

→市営住宅の集会所を使える
よう、区役所に依頼

2 誰が販売会をやるの？

住民有志を集め、東急ストアさんの協力で

3 どんなお店にする？

何曜日の何時からオープン？

どんな商品をどう並べる？ など話し合い

私たち住民と、東急ストアさん、区の職員が
何年も**話し合い、ひとつずつクリア**していきました…



〔ステップ1〕

まずはやってみよう

昨年9月の土曜日に2週連続で、お試しの販売会をやってみました。

9月22・29日（土）

10:30~14:30



〔利用者の声〕

- ・久しぶりに会えて顔が見られてよかった（抱き合っていました！）
- ・自分が好きなものを選んで買えるので楽しい
- ・重いものが買えてよかった。普段は出かけたついでに買い物をしているが、運ぶことを考えると、重いものを買うのはためらってしまう
- ・こうした機会が定期的にほしいし、次回も是非、続けてほしい

〔ステップ2〕 毎週、続くしくみをつくろう

- 毎週土曜日、市営住宅の集会所で販売するために

→ 東急ストアと区役所が協定締結！ H30.12

- 負担軽減 → 開店時間を4時間から2時間に

- EVのない市営住宅では荷物を
持って階段を上るのが大変

→ 玄関先まで運搬

- もっと知ってもらい、売り上げUP

→ ごみ置き場にもポスター
周辺町会にも広報



私たち住民と、東急ストアさん、区の職員が
知恵を出し合い、少しずつ改善しています…

〔ステップ3〕さらなる進化へ

- 販売会の担い手をまとめ、話し合う場を

→「協議会」の設立へ

- 若い力が支え、彼らも地域から学べないか

→NPOや学生の協力を模索

- 安らぎ、楽しみを与える場に

→集会所前の広場も活用し

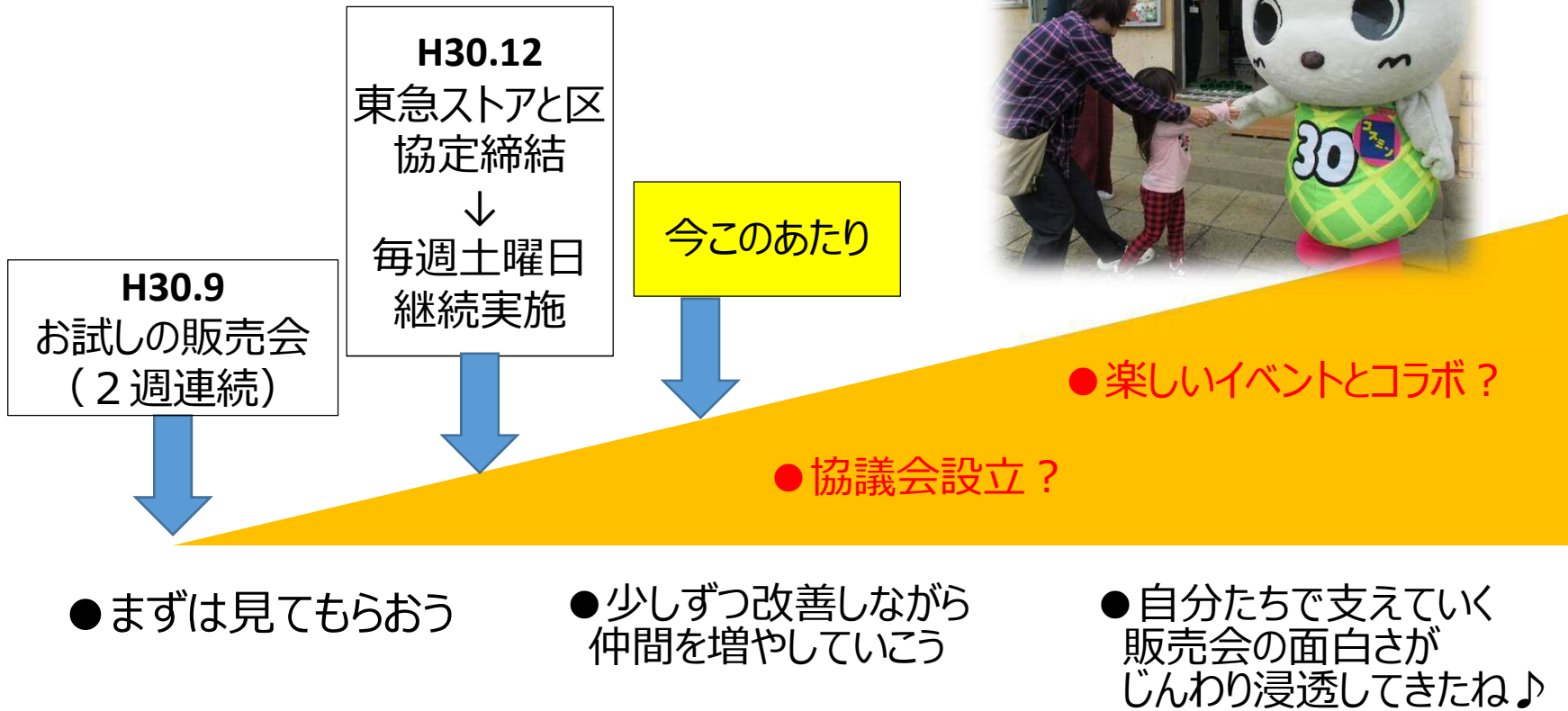
井戸端会議できる場や

イベントも（**子ども会で凧揚げ**）



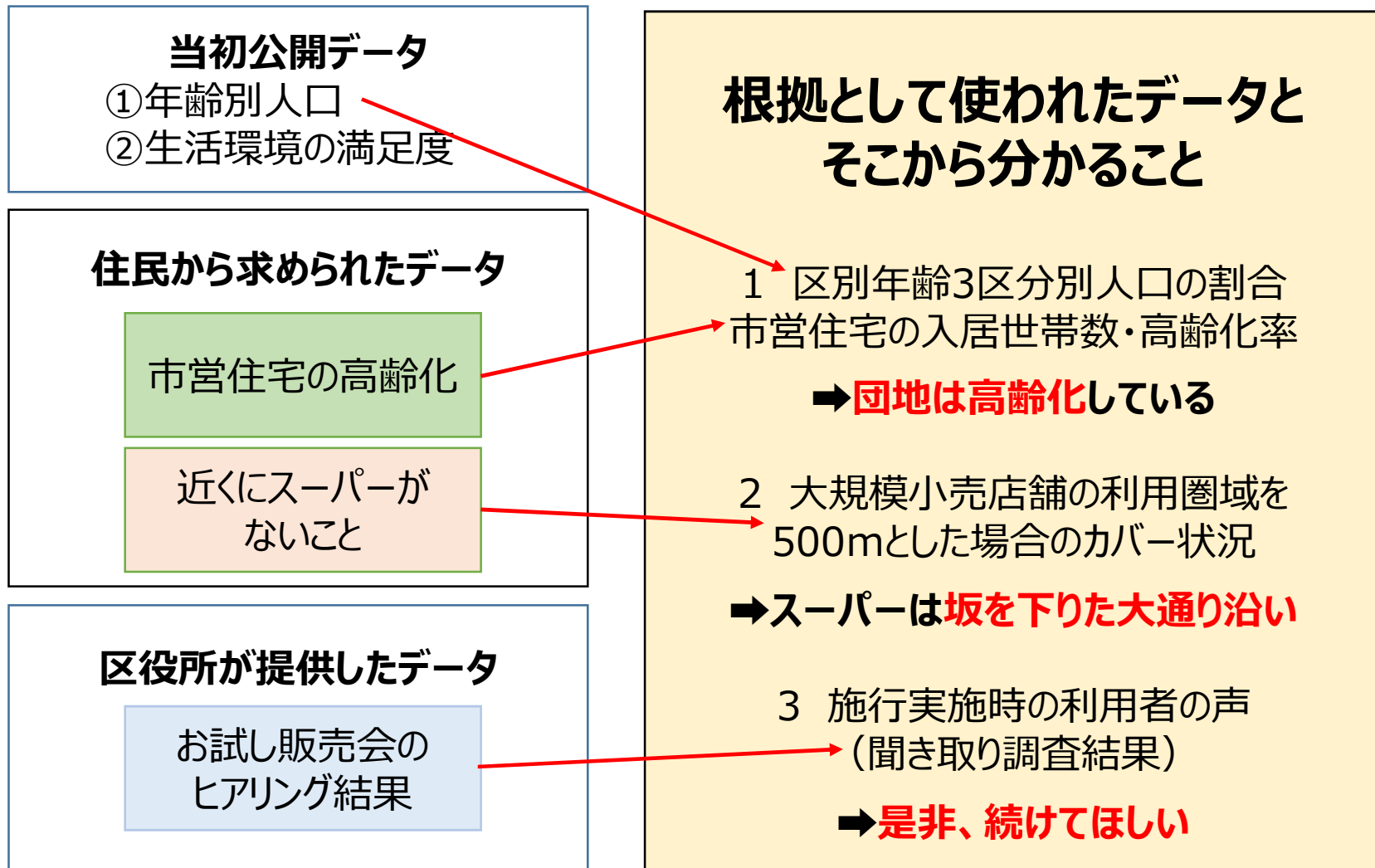
「**みんなで育てる**」販売会。だから夢も広がります

♪ みんなの理解が進むまで ♪



④連携状況 ~互いに「できること」を~

連携状況① データ公開



連携状況② 市民へのサポート

〔きっかけ〕 平成27年 東急総研から区への提案

1 準備段階 企画～試行実施

- 地域課題の解決につながりそうな**地域に提案を打診し、企業とつなぐ**
- 実施するための**庁内調整**
 - ・市営住宅集会所を利用するための検討、市の他の施策等との整合

2 立ち上げ支援 継続実施～協議会設立

- 区と東急ストアが**協定締結** →改善しながら**1年間継続**する環境整備
- **販売会への立ち会い**（毎週土曜日）
 - ・お客さん、販売会ボランティア、東急ストアの**意見や販売状況を把握**
- **定期的な打合せ**（月1回程度）
 - ・継続実施していくため、課題をひとつずつ検討

現在このあたり

3 安定した運営へ 自治会から認められた協議会へ

- 協議会に関わり、現状を確認・助言しながら、改善を継続的にサポート

連携状況③ 市民・企業とのコミュニケーション

コミュニケーションで感じるのは「みんな頑張ってる」こと
⇒**ありがとう**、だから**自分もがんばろう**という**気力**に

地域住民

- ・この団地を良くしたい
- ・販売のプロの協力に感謝
- ・区役所も頑張ってくれてる
(自分たちもできることを！)

広がる感謝の輪

東急ストア

- ・販売会で**地域や行政と一緒に地域貢献**できることに感謝
(他でも同じような協力が得られるとは限らない…)

宮前区役所

- ・販売会を支えてくれる地域のボランティアと東急ストアに感謝
(**市からの予算は0円**だけど、調整や助言は続けたい！)

連携状況④ 今後の方針

地域に愛される販売会として続けていくために

◎ **信頼関係の構築は現場から**

- ・実際に見聞きして共感し、悩み、本気で考える

◎ **頑張り過ぎず、楽しむこと**

- ・真面目になりすぎず、自分たちが楽しもう

◎ **皆でまた来たくなる販売会に**

- ・口コミを大切に、利用者ニーズに応えつつ、楽しいイベントも

区職員として…

地域を自分たちで支えたいという住民のために
何ができるか考え、前例がなくてもチャレンジしていきたい

発表の機会を与えてくださり
ありがとうございました



高山土曜ストア

みんなで育てよう!!